

詳細プログラム 【第2日目：12月8日（日）】

第1会場（20502 教室）

●会長講演

09:00-09:30

座長：下澤達雄（国際医療福祉大学医学部臨床検査医学）

食品機能性成分を用いたがん予防研究について

矢野友啓（東洋大学大学院健康スポーツ科学研究科分子食理学）

●シンポジウム3 機能性食品の臨床応用

09:45-11:15

座長：伊藤壽記（大阪がん循環器病予防センター）

安枝明日香（東洋大学食環境科学部健康栄養学科）

S3-1. がん患者の健康食品摂取に関連した有害事象の症例報告のシステマティックレビューからみた、
利用状況や健康被害の特性の解析

小島彩子（国立健康・栄養研究所）

S3-2. 肝類洞壁構成細胞の解剖学的特徴に着目した肝機能改善素材の探索

宇留島隼人（大阪公立大学大学院医学研究科基礎医科学専攻）

S3-3. がんカヘキシアにおける腸内細菌叢の変化と臨床応用

安枝明日香（東洋大学食環境科学部健康栄養学科）

S3-4. 上部消化管癌集学的治療の成績向上を目指した腸内環境制御

本告正明（大阪府立急性期総合医療センター消化器外科）

S3-5. 膵癌における AHCC（機能性食品）の有効性を検証する臨床研究

橋本大輔（関西医科大学胆膵外科学講座）

●ミニシンポジウム 既存薬戦略と食品戦略に基づくがん予防と臨床試験

11:25-12:25

座長：武藤倫弘（京都府立医科大学大学院医学研究科分子標的予防医学）

矢野友啓（東洋大学大学院健康スポーツ科学研究科分子食理学）

MS-1. アスピリンのがん予防臨床試験

武藤倫弘（京都府立医科大学大学院医学研究科分子標的予防医学）

MS-2. In silico 解析により抽出したレスベラトロールの大腸癌予防効果

高山哲治（徳島大学大学院医歯薬学研究部消化器内科学）

●シンポジウム4 加齢性疾患予防に向けたポリフェノール研究の最前線

(共催：日本ポリフェノール学会)

14:20-15:50

座長：禹濟泰（中部大学応用生物学部応用生物化学科）

岸本良美（摂南大学農学部食品栄養学科）

S4-1. 日本人における加齢性疾患リスクとポリフェノール摂取量との関連

岸本良美（摂南大学農学部食品栄養学科）

S4-2. 加齢指標タンパク質 SMP30 を制御するポリフェノール類

井上博文（東京農業大学応用生物科学部食品安全健康学科）

S4-3. 黒大豆ポリフェノールが脳機能に及ぼす効果

山下陽子（神戸大学大学院農学研究科）

S4-4. ポリメトキシフラボンの多様な生理機能とその作用メカニズム

禹濟泰（中部大学応用生物学部応用生物化学科）